

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 8日

中施策事業名	病後児保育事業	部課名	健康福祉部・こども保育課
		作成者	塚本 由佳
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	緊急時に対応できる体制を整える		
④中施策事業の対象	病後児童及びその家族等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	児童の病後にも安心して預けられるところがあるということが広く知られ、必要時に利用されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 病後児保育室事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
病後児保育室の登録人数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	200	200	200	150	150	150
	実績値	66	87				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費 (a+b)				7,507千円	7,787千円		
	a 事業費合計			7,507千円	7,787千円	7,741千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				1,598千円	2,058千円
③ コスト (①－②)				5,909千円	5,729千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				86 円	83 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 子どもを安心して産み育てられるまちをつくるうえにおいて、病後児保育を実施することは必要不可欠な事業であるにとらえている。 しかしながら、令和2年度及び3年度においては、コロナウイルスの感染拡大による影響により、サービスを利用するための登録者数は目標値に達することはできなかった。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	「広報とよあけ」及び市ホームページ、施設案内等を記述したリーフレットを活用し、継続的な周知活動が求められる。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	「広報とよあけ」及び市ホームページ、施設案内等を記述したリーフレットを活用し、継続的な周知活動を行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 8日

中施策事業名	認可外保育施設事業	部課名	健康福祉部・こども保育課
		作成者	塚本 由佳
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる		
④中施策事業の対象	認可外保育サービスを必要とする人		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	認可外保育サービスを必要とする全ての人がサービスを受けることができる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 認可外保育施設の運営に対する補助事業 ・ 認可外保育施設の指導監査		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
認可外保育施設の入園実績人数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	40	40	40	40	40	40
	実績値	22	25				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				9,600千円	8,507千円	
	a 事業費合計			9,600千円	8,507千円	10,321千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				5,224千円
③ コスト (①－②)				4,376千円	3,268千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				64 円	47 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 全国的に課題となっている待機児童解消のためには、認可保育所等における利用定員の拡充を図るとともに、認可外保育施設による児童の受入れ確保も求められていることから、施設運営に対する補助事業と指導監査を継続的に行う必要がある。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	補助金の交付にあっては、近隣自治体の取り組み状況を参考にしつつ、その在り方を検討していくとともに、認可外保育施設への補助を継続して行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き、認可外保育施設への補助を行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 12月 5日

中施策事業名	保育所等整備事業	部課名	健康福祉部・こども保育課
		作成者	塚本 由佳
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる		
④中施策事業の対象	今後保育所等を利用しようとする者及び保育所等整備事業者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	利用者がより多くの選択肢の中から保育所等の利用を選択できるようになる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	市立保育所等の管理、教育・保育施設等の整備、地域型保育事業の認可、地域型保育事業の指導監督		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
保育所等の利用定員数（10月1日時点）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	1,688	1,778	1,778	1,778	1,707	1,707
	実績値	1,688	1,722				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				68,568千円	398,063千円	
	a 事業費合計			68,568千円	398,063千円	74,152千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				21,333千円
③ コスト (①－②)				47,235千円	214,033千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				686 円	3,110 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 子どもを安心して産み育てられるまちをつくるのために、計画的な施設整備を行う中で利用定員の拡大を図ることは待機児童解消に必要不可欠な取り組みである。 このような中で、令和2年10月1日付けで小規模保育事業所を1か所新設（利用定員19人）したことに加えて、民間認可保育所1か所の施設改修工事に要する経費を補助することで、令和3年4月1日付けで利用定員の拡大（15人）を図った。 このほか、公立保育所の老朽化対策として、保育室や外壁などの大規模改修工事を実施した。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設整備等にあつては、多大な経費が伴うことから国県支出金などの特定財源の確保が求められる。 財源確保を行ったうえで、民間施設が整備等を行うための経費について、引き続き、補助を継続して行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	民間施設が整備等を行うための経費について、引き続き、補助を継続して行っていく。加えて、老朽化する公立施設のあり方を検討する中で、「民でできることは民に」の考え方のもとに、計画的な民営化を図っていくこととする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 15日

中施策事業名	保育所等運営事業	部課名	健康福祉部・こども保育課
		作成者	塚本 由佳
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる		
④中施策事業の対象	保育所等の利用者及び保育所等運営事業者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	質の高い保育が提供されており、保育所等の利用者が安心かつ快適に利用できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	保育所等の入所、教育・保育給付、市立保育所の運営、保育士の管理及び研修、保育料及び利用者負担額、保育所等への補助金、幼稚園への補助金		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
待機児童数（潜在的待機児童数を含む。10月1日時点）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	100	90	80	70	60	50
	実績値	47	64				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費 (a+b)				1, 712, 948千円	1, 807, 476千円		
	a 事業費合計			1, 712, 948千円	1, 807, 476千円	2, 027, 405千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				918, 913千円	932, 304千円
③ コスト (①－②)				794, 035千円	875, 172千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				11, 538 円	12, 717 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 計画的な施設整備（小規模保育事業所 1 か所の新設及び民間認可保育所における利用定員の拡大）により、待機児童数が計画値を下回ったことは評価できる。 今後においても、国道 1 号線以南の南部地区における潜在的な待機児童の解消に向けて、老朽化する公立施設の在り方を検討するとともに、計画的な施設の民営化を図る中で利用定員の拡大を行う。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	公立の内山保育園の民営化（令和 6 年度実施）に向けて、円滑な引継保育が行えるよう、移管先法人と連携を図っていく（引継保育の在り方の検討など）。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	公立の内山保育園の民営化（令和 6 年度実施）に向けて、市と移管先法人が連携を図りながら、引継保育を実施していく。 引き続き、今後の教育・保育需要（動向）を把握する中で、教育・保育の「量の見込み」及び「確保方策」を見直すとともに、老朽化する公立施設の在り方を検討し、計画的な施設の民営化を図っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 保育環境改善事業	内容、理由、時期等 公立保育所の老朽化した設備や環境改善する設備を計画的に改修・改善する。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 8日

中施策事業名	女性の復職支援プログラム事業	部課名	健康福祉部・こども保育課
		作成者	塚本 由佳
①めざすまちの姿	36 女性が職場や地域で活躍し続けている		
②大施策	女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる		
③中施策	職場や地域において女性の活躍の場を増やす		
④中施策事業の対象	潜在保育士、保育士を目指そうと思っている人、地域において保育や子育て支援等の仕事に関心を持っている人		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内の保育園等に安心して子どもを預けることができ、職場や地域で活躍できると考えている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 子育て支援員研修開催事業 ・ 保育士資格取得支援補助金事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
プログラムを利用して復職した人の数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	5	5	5	5	5	5
	実績値	0	0				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	767千円	
	a 事業費合計			0千円	767千円	37千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	383千円
③ コスト (①－②)				0千円	384千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	6 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B プログラムを利用し資格取得者が子育てに関心を持ち、就労につながるという点で目標値を達成することはできなかった。 しかしながら、女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくるためには、施設等で就労するための資格取得（子育て支援員）を支援することは重要な取り組みである。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	本事業は、令和元年度に引き続き、令和3年度に実施した。 令和3年度の実績評価を踏まえ、令和5年度の実施方針について、そのあり方を検討する。 加えて、子育て支援員の資格を取得した人材をいかに就労につなげていくかを模索していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き、子育て支援員の資格を取得した人材をいかに就労につなげていくかを模索していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等